

議会庁舎改築整備等検討協議会(第30期前期 第8回)の開催結果

1 開催日時

平成28年12月15日(木) 10:30~10:47

2 場所

議会運営委員会室

3 出席者

(1) 構成員

釣部勲議員(座長)、村田憲俊議員(自民党・道民会議)、勝部賢志議員(民進党・道民連合)、金岩武吉議員(北海道結志会)、森成之議員(公明党)、真下紀子議員(日本共産党)

(2) 構成員外

総務部2名、建設部3名、議会事務局3名

4 配布資料

(1) 議会庁舎改築基本設計(案)について(資料1)

(2) 議会庁舎改築基本設計に係る各会派の意見及び対応(資料2)

(3) 道議会庁舎改築基本設計に係る道民意見聴取結果(資料3)

5 開催結果

(1) 議会庁舎改築基本設計(案)について

建設部から資料1に基づき説明

(2) 各会派の意見に対する道の考え方について

・ 建設部から説明のあった基本設計(案)について、あらかじめ各会派からいただいた意見等に関して、総務部から資料2に基づき、道の考え方を説明

・ 勝部議員から環境に配慮した技術の導入について、道として積極的に検討していただきたく考えており、費用対効果や建築費の抑制を検討する必要があるが、議会庁舎に当該技術を導入することで省エネ・新エネを推進する道の姿勢を対外的に発信する効果があり、例えば、冬のロードヒーティングとして地中熱を利用するヒートポンプ技術は、工事費は多少かかるがランニングコストが相当安くなるメリットがあるので、前向きな導入検討について意見

・ 真下議員から省エネ・新エネ技術の導入について、新議会庁舎は「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」を目指すという考えもあったので、国の事業の活用などを念頭に、十分検討すべきとの意見、また、今後、概算工事費や整備費用の抑制について、今後、具体的に示されるのかとの質問があり、総務部から次回の協議会でその時点の事業費や具体的な費用抑制内容を示すと回答、また、外観イメージA案とした場合の雪庇対策について質問があり、建設部から雪庇対策について、北方建築総合研究所(地方独立行政法人北海道立総合研究機構)とともに検討を始めており、今後、設計作業の中で詰めていくとの回答

今回の協議を踏まえ、基本設計の検討を進めることを了承

(3) その他

- ・ 総務部から基本設計に係る道民からの意見募集結果の概要を資料3に基づき報告(本日から道のホームページで公表)
- ・ 座長から当該意見募集結果を踏まえ、道民の皆様も利用しやすい議会庁舎となるよう考慮していただきたいとの発言
- ・ 次回の開催時期は、基本設計の進捗状況等を踏まえ、事務局で調整